

平成30年度 児童・生徒の学力向上を図るための調査結果 課題分析表 (中学校)

教科ごとの「教科の観点」・「読み解く力」における平均正答率の比較

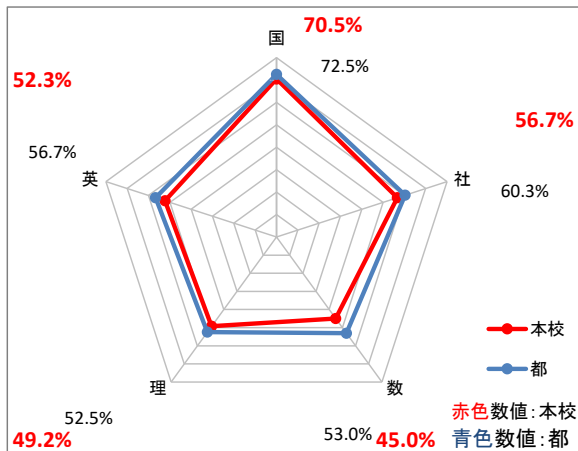
国語	教科の観点						読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	92.5%	68.1%	78.0%	70.5%	70.1%	73.2%	85.8%	64.2%	62.4%	69.2%	72.5%
本校	93.8%	61.0%	74.6%	70.0%	69.9%	71.6%	77.1%	60.0%	61.0%	64.5%	70.5%
都との差	1.3	-7.1	-3.4	-0.5	-0.2	-1.6	-8.7	-4.2	-1.4	-4.7	-2.0

社会	教科の観点					読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的な事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	94.4%	59.9%	57.6%	62.0%	62.9%	62.9%	42.9%	46.8%	50.9%	60.3%
本校	91.9%	56.8%	53.5%	57.1%	58.9%	61.0%	39.5%	45.2%	48.6%	56.7%
都との差	-2.5	-3.1	-4.1	-4.9	-4.0	-1.9	-3.4	-1.6	-2.3	-3.6

数学	教科の観点					読み解く力				全体平均
	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力	読解平均	
東京都	77.6%	41.6%	53.9%	58.8%	55.6%	49.6%	49.3%	35.4%	45.4%	53.0%
本校	77.1%	32.4%	44.4%	52.2%	47.7%	43.8%	42.4%	21.4%	37.0%	45.0%
都との差	-0.5	-9.2	-9.5	-6.6	-7.9	-5.8	-6.9	-14.0	-8.4	-8.0

理科	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然事象についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	86.7%	45.7%	61.4%	46.8%	53.4%	78.7%	49.8%	19.5%	49.4%	52.5%
本校	86.7%	42.3%	56.4%	43.3%	50.0%	72.4%	45.2%	22.4%	46.7%	49.2%
都との差	0.0	-3.4	-5.0	-3.5	-3.4	-6.3	-4.6	2.9	-2.7	-3.3

英語	教科の観点				読み解く力				全体平均	
	関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	教科平均	必要な情報を正確に取り出す力	比較・関連付けて読み取る力	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力		読解平均
東京都	82.6%	31.7%	69.5%	59.3%	60.2%	45.2%	52.9%	37.4%	45.2%	56.7%
本校	71.9%	32.9%	61.8%	58.9%	56.1%	37.1%	47.1%	33.8%	39.4%	52.3%
都との差	-10.7	1.2	-7.7	-0.4	-4.1	-8.1	-5.8	-3.6	-5.8	-4.4



《都との比較にみる本校の状況》

・全体的に東京都の基準より低いいため、今後も学力向上のための一層の取り組みが必要である。

・「関心・意欲・態度」については、東京都平均とほぼ同基準、または低めであるため、主体的な学習態度を育む必要がある。

・教科の内容、読み解く力に関する内容ともに改善を要する。

・教科の内容については、「技能」「知識・理解」などの正答率が基準よりも低いことから、基礎的基本的な事柄が定着していないことがうかがえる。したがって、それらの活用を要する「思考・判断・表現」の正答率も同様に低くなっている。

・読み解く力については、取り出す力、読み取る力、解決する力がすべて東京都の平均を下回っており、課題解決全般に必要な学力の向上が必要である。

《授業改善のポイント》

・基礎的基本的な学力の向上が必要であり、数学では引き続き習熟度別学習が重要である。他の教科でも、基礎学力の定着を図り、「思考・判断・表現」などの活用につなげていくことが大切である。

・「関心・意欲・態度」については、より主体的な学習態度を引き出すために、教材、指導法に工夫を行い、学習意欲を高めていく必要がある

・読み解く力を育むために、引き続き朝読書や読書科を活用し、取り出す力等問題解決につながる力を育てていく。

《家庭・地域への働きかけ》

・家庭での学習をうながす。学力の定着を図るためには学校での学習に加えて、復習が必要不可欠である。保護者と連携をとりながら、生徒への学習をうながしていく。

・保護者会や三者面談などを通じて学校や生徒の様子について、保護者と情報を共有しながら個に応じた指導を行っていく。